



「我が校の教育」

特色ある活動紹介

市内の小中学校全30校を毎月紹介します

第3回

郡上市立高鷲小学校 郡上市立八幡中学校

☎ 郡上市教育委員会学校教育課
67・1468

高鷲小学校

高鷲小学校では、「前の自分より今の自分が好き」といえる子をめざし、学ぶ力、共に創る力、命を守る力の3つの力を、人との関わりを通して身につけようと教育活動を進めています。

☑ あいさついっぱい取組み

児童会の取組を運営委員長の麦島凛乃さんが紹介します。「私たちが児童会活動を通して『みんなが気持ちよくくらしらせる学校』をめざし、毎朝校門であいさつ運動をしています。これを誰よりも頑張っているのは生活委員長の大口愛斗君です。愛斗君はみんなを元気づけたいと願い声を出しているそうです。私自身は『あいさつは仲良くなるきっかけだ』と思っています。あいさつから会話が生まれ、その人と仲良くなれるからです。そんな私が心の中で大切にしていることが一つあります。毎朝登校の途中で地域のある方と必ずあいさつを交わすことです。低学年の頃は誰もあいさつをしていなくてやりにくかったけど、

分団のメンバーが替わったある日、迷った末思い切ってあいさつしてみました。すると笑顔でとても気持ちよく過ごせました。それ以来、その方にあいさつすることを続けています。みんなにもあいさつのよさを知ってほしいし、あいさつの力でみんなが気持ちよく生活できると思っています。」

学校としてもこんな児童会活動を価値付け定着させるために、「あいさつマイスター」の取組をしています。あいさつの意味を「誰とでも」「顔を見て」「自分から」「元気な声で」の4つの観点から指導し、努力する観点を明確にもたせました。夏休み前の最終日、この4観点を努力した児童20人を「あいさつマイスター」として表彰しました。きっとこれからの学校、地域でのあいさつをリードしてくれることでしょう。

☑ 関わり合う授業

本校では、3〜4人の少人数で仲間と関わって学ぶことや、地域の方との関わりから学ぶこ

とを大切にしています。ギフトチヨウのふ化、高鷲の昔話（3年生）や長良川での川遊び（4年生）など、地域の講師の方にお世話になりました。これからも、児童と共に創り上げる教育活動を大切にしていきたいと思います。



高鷲小教頭 川松雅史

八幡中学校

八幡中学校は、今年度、生徒数250人、1年生3クラス、2年生3クラス、3年生2クラス、そして特別支援学級が2クラスの規模です。10年前には、412人、各学年4クラスの規模であったことから、ここ10年間で急激に生徒数が減少しています。校区には、八幡小、川合小、口明方小の3つの小学校があり、「地域の中学校」として

地域のみなさんから大切にしたいと思っています。また、美濃

八中人権宣言

私たちの誰もがひとりの人間として大切にされることで、八幡中学校がオアシスのように心から安心し、のびのびと生活できることを願い、ここに「八中人権宣言」として宣言します。

- 1. オ お互いが助け、励まし合う仲間関係をめざします。
- 1. ア 相手の心や体を傷つけるような言動はしません。
- 1. シ 集中し、深まりのある授業（学習）をめざします。
- 1. ス 過ごしやすい環境をめざし、きまりとマナーを守ります。

2001年11月2日 八幡中学校 生徒会

展を大切にしています。

教育事務所及び郡上市教育委員会から指定を受け、「教員の研修校」としての役割も担っています。こうした「地域の中学校」「研修校」として、八幡中学校では、「自学自治」を学校の教育目標に掲げ、郡上弁で言うところの、「かいしよがあつて、まにあう」人材の育成を目指し、日々の指導や生徒の活動を行っています。また、生徒会活動においては、「八中文化（八中人権宣言）」を大切にし、自分たちの力で質の高い活動を創り上げ、仲間と協力し高め合っていることとする気持ちの継承と発展を大切にしています。

そこで、今年度は、あらためて「自学自治」にこだわり、校内にとどまらず、地域のボランティア活動や地域行事に積極的に参加していくことを大切にしています。そして、その基盤として、まずは、普段の掃除や係活動に「こだわる」ことを全校で意識しはじめました。こうした日々の取組の成果の一端をこれから行われる「体育祭」や「合唱祭」でもご覧いただけるかと思っています。

八幡中教頭 金子政則

